



川<sup>かわ</sup>と人々<sup>ひと</sup>の暮らし<sup>くらし</sup>



# 坂元の棚田

## 坂元の農家の人々が力を合わせて作った棚田

人が造ったとは信じられないような、圧倒的な景色を見せてくれるのが坂元の棚田です。地元の農家の方々が、たんねんに手入れをして守っています。春の田植えから秋の収穫まで、稲作は水をたくさん必要とします。

その水は、川から流れてきて、また川に戻っていきます。

この棚田のそばを流れる坂元川は、やがて酒谷川に注ぎます。今あなたの見ている川の水は、ついさっきまでは田んぼをうるおしていたのかもしれませんが。



一枚一枚の田んぼをふちどる石垣。がっちりと組まれた垣のところどころには、水を通すためのすき間が空けられています。

棚田1枚の面積は多くが500平方メートルぐらいで、全部で75枚ほどあります。これを集落の18の農家が耕しています。農家のみなさんは「れんげの里づくり協議会」という集まりを作り、棚田の修理や草刈りをするほか、お祭りや写真コンテストなどのイベントを開いて、活気ある地域づくりに成功しています。

収穫を迎えた棚田 日南50景より



「れんげの里づくり協議会」  
についてはP.31も見てね!





## 坂元の棚田の歴史

坂元の棚田は、昭和の初めに作られました。  
 最初は、田を耕すのに馬を使っていました。彼らは、周辺の山の植林地から木材を運び出すためにも重宝されたそうです。昭和42年（1967）ころから、小型トラクターが使われるようになりました。



日南50景より



この坂元やまわりの集落では、量は少ないですがわさびも栽培されています。わさびとえば、特にきれいな水が必要。源流に近い谷の水で育っています。

収穫を終え、ひと休みしているような、晩秋の棚田です。霧のかかった空を、田の一つ一つが映し込んでいます。

## 宮崎県内の他の「棚田百選」

- えびの市／真幸棚田
- 高千穂町／尾戸の口、栃又、徳別当
- 日之影町／石垣村
- 五ヶ瀬町／鳥の巣、下の原、日陰
- 西米良村／向江棚田、春の平棚田

## 「日本の棚田百選」

棚田とは、山地などの傾斜地に、階段状に作った狭い水田のことで、千枚田とも言います。棚田を含む水田には、食料を作ることだけでなく、降った雨を一時的にためておくこと、気持ちの安らぐ場所であることなどの大切な役割があります。そして棚田には、これらに加えて特に美しい独特の景観や文化資源、また伝統的な稲作の技術といった、様々な価値があるとされています。

そこで、棚田を守ることに力をつくし、また地域の活性化によく取り組んでいる地区を選んで、棚田のことをもっと広くみなさんに知ってもらおうというのが「日本の棚田百選」です。岩手県から鹿児島県までの134か所が選ばれ、「坂元棚田」は県内の他の10か所と一緒に登録されました。



# 用水路

## 鬼の頭トンネルと角利吉

大正10年ごろのことです。上郷・郷之原地区の水田には、広渡川をせき止めて水を引いていました。しかし、このころの堰は丸太の杭に竹や雑木をたたみ込んだものだったので、大雨のたびに壊れていました。そのたびに村中の人は集まって修理をしなくてはなりませんでした。

ある時、もっと上流の「鬼の頭」にトンネルを掘ったらどうかという話が出ました。そうすれば堰がなくても水を引くことができます。しかしそれは大変な工事になるのです。だれもやりたがらない中、角利吉という人が名乗りをあげました。始めてみると、やはり難工事でした。十数人いた作業員もやめていき、彼らに払う資金もなくなり、角利吉ひとりになってしま

いました。それでも彼は、

「自分の食べるもの、着るもの、  
住むところさえ差し入れて  
くれればいから」

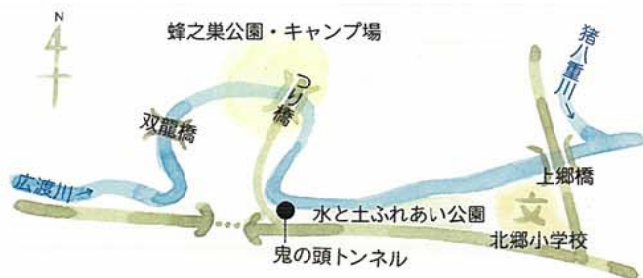
そう言って、根気よく掘り進みました。

着工から2年余り。ついに長さ116メートルの用水トンネルが完成したのです。

上郷・郷之原地区は、この上郷用水路のおかげで、不安な日々を過ごさなくてすむようになりました。



北郷小学校の隣の「水と土ふれあい公園」  
に建てられた、角利吉の功績を記念する銅像



鬼の頭トンネル(矢印)は  
遊歩道になっています。  
写真の右の方は広渡川。  
水路は遊歩道の下で、  
今も大きな水音が  
トンネルに響いています。





## まつなが ようすい まつなが 松永用水と松永のシイ

まつなが い せき ひろ と がわ きたごうちょう にちなん し はい  
松永井堰は、広渡川が北郷町から日南市に入ってくるあたりにあります。

そこからつくられた ようすい ろ まつながようすい  
そこから作られた用水路が、松永用水です。

とうごうむら まつながようすい た はた たがや え  
東郷村は、松永用水のおかげで田畑を耕すことができました。ところが江戸時代半ばの元禄2年（1689）のこと、江戸幕府は松永村を直接治める

ことにしました。い せき ようすい ろ まつながむら し ゆう  
ことにしました。井堰も用水路も松永村にあるので、このままだと自由に水が使えなくなってしまう。そこでおびはんは、これらのあるあたりを東弁分村の一部ということにして、地元の権利を守ったということです。

まつながようすい とちゆう まつなが う えら れた と づた  
松永用水の途中にある「松永のシイ」は、このときに植えられたと伝えられています。（まつながむら とうごうむら ひがしべんぶんむら……それぞれ今の日南市松永、東郷、東弁分のあたり）

まつなが にちなんし てんねんきねんぶつ してい  
松永のシイは、日南市の天然記念物に指定されています。



ようすい なん  
用水って何だろう？

「用水」とは、何かに使う（用いる）ために遠くから引いてきた水、またはためておいた水のことをいいます。米をつくるには十分な水が必要で、なくなると食べるものが作れなくなってしまうため、昔から農業用水を確保するために人々は大変な努力をしてきました。そのため、「用水」といえば、ふつう農業用水のことを指しています。そして、水のある身近な場所と言えば、川であることが多かったので、川から田畑に水を引くための「用水路」が、各地で発達したのです。また、用水は生活用水や防火用水など人々の生活の中で様々に利用され、その大切な用水路を人々は守り続けています。





# 渡し舟の朝



日南市役所蔵

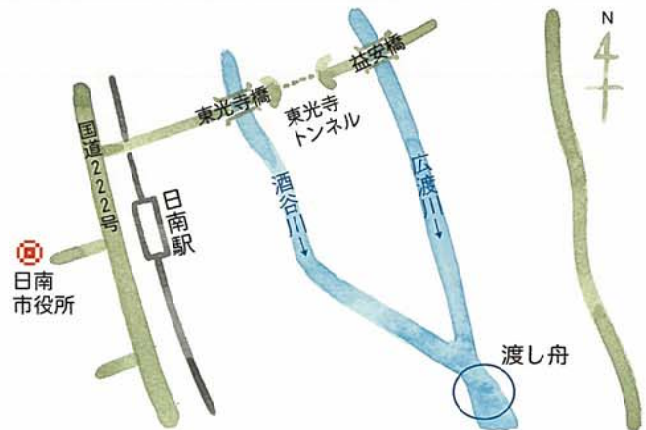
ひろとがわ さかたにがわ ごうりゅう しょうわ ねん しゃしん  
 広渡川と酒谷川が合流するあたりの、昭和40年(1965)ごろの写真です。  
 まず目につくのは、手前の船頭さんがつかまっている、ひものようなもの。  
 じつは、ふと はりがね  
 じつは、太い針金、ワイヤーなのです。

ふつう、わた ぶね  
 ふつう、渡し舟というと、たけ のさおが つき もの  
 竹のさおが付き物です。さおで かわ そこ お  
 川底を押して、  
 ぶね うご  
 舟を動かすのです。

ところがこのあたりは、い がい かわ ふか そこ  
 意外と川が深く、底にさおが届かないのです。  
 そこでかんが だ  
 そこで考え出されたのが、この はりがね  
 針金というわけです。

いま はし ふ わた ぶね やくわり  
 今では橋が増え、渡し舟はその役割を  
 お  
 終えましたが……

の ひと  
 乗ってみたいなくなった人、  
 いるのではないのでしょうか？





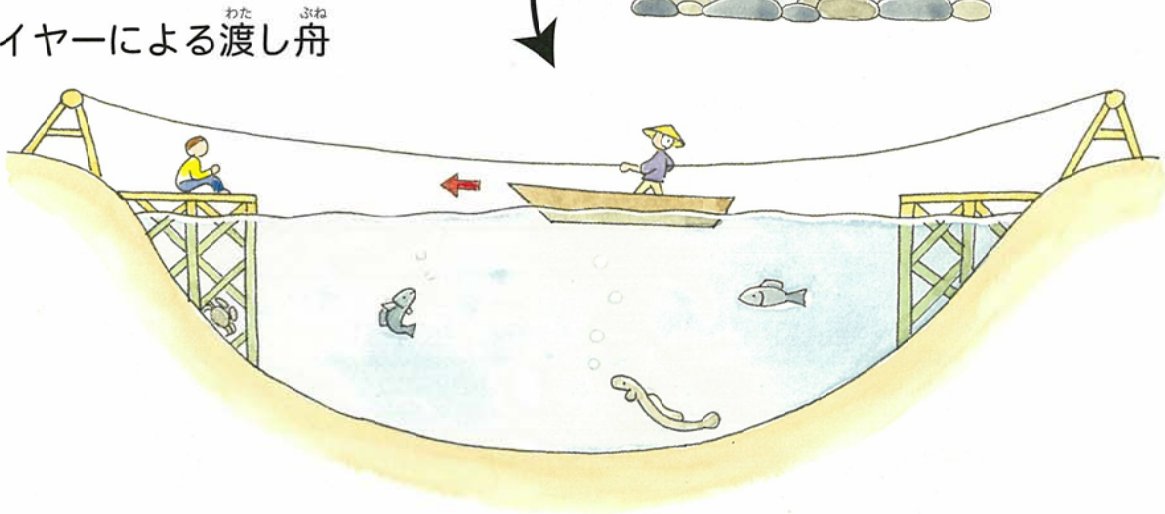
いっばんてき わた ぶね  
一般的な渡し舟



ひろとかわ さかたにかわ ごうりゅうてん  
広渡川・酒谷川合流点では



ワイヤーによる渡し舟



おびのまちをかこむようにながれる酒谷川にも、このワイヤー式の渡し舟があったんですよ！  
ここでは、橋のかけられた明治の末ごろまで渡し舟が使われていて、その後も大水などで橋が流されると、臨時に舟が出されていたということです。

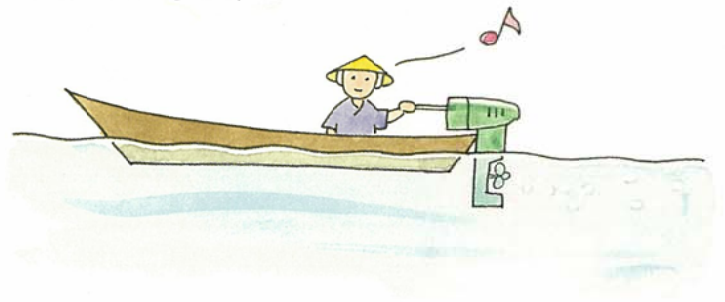


わた ぶね れき し  
渡し舟の歴史……

オールでこぐ



エンジンをつける





# 橋はし

あなたは、毎日の生活で橋を利用していますか？

舟で渡っていた川に、だんだん橋が造られるようになりました。橋は木製でした。そのため、昭和20年代ごろまでは毎年のように台風などでどこかの橋が流されて、その度に地域の方々は大変苦労してきたのです。やがてよりしっかりした橋が求められるようになりました。それは人通りだけでなく、荷馬車やリヤカー・自転車がが増えてきたからです。

そういった努力により造られた橋の中には、今、美しさの面から再び注目されるようになったものもあります。

そんな橋は、時代の流れをどのような思いでながめているのでしょうか。

## 上郷橋かみごうはし (広渡川、北郷小学校前)



「永久橋って何？」  
「コンクリートや鉄で作られた頑丈な橋のことだよ。  
今は当たり前だけど、昔は技術やお金の問題があって、わざわざそう呼んで区別するほど少なかったんだ」

## 上郷橋 掛け替えの歴史年表

橋のかかる前

昭和7年

昭和10年

昭和17年

昭和19年

昭和21年

昭和22年 9月

昭和38年 10月

渡し舟

幅6尺(約1.8メートル)の板の橋 昭和9年流失

前よりも丈夫な木の橋 昭和14年流失

かけ替え 昭和18年流失

修理・かけ替え 昭和20年流失

復旧工事 昭和22年流失

永久橋にかけ替え

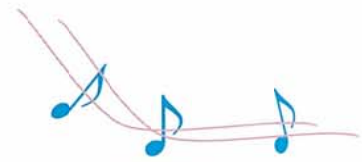
修理かけ替え～(平成3年3月 最新のかけ替え)



おお たに ばし おお たに がわ さか たに がわ し せん  
大谷橋 (大谷川…酒谷川支川)



大谷橋



うつく 美しい石橋。  
よる 夜、あかりに照らされた  
はし 橋のもとでコンサートが  
ひら 開かれたりしています。

そのコンサートの話は、  
P30を見てね！

はち の す こう えん はし ひろ と がわ  
蜂之巣公園の2つの橋 (広渡川)



双龍橋

なにこれ？  
うっす〜い橋！！



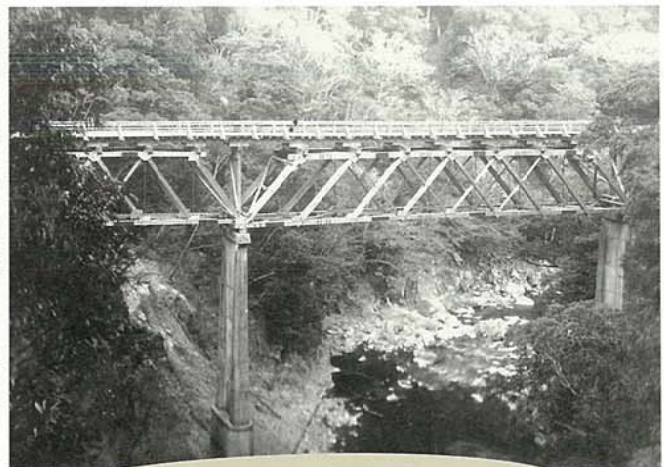
蜂之巣公園の吊り橋

はち の す こう えん では、  
2つの橋が広渡川を  
またいでいるよ！

むかしの橋が写っている写真



さか たに ちゅうがっこう せんせい せい と  
酒谷中学校の先生、生徒たちと  
「旧桃の木橋」昭和20年代



ひろ と  
広渡ダムのあたりにかかっていた  
いた や さんどうきょう しょうわ ねん だい  
「板谷栈道橋」昭和20年代







にちなんひろとがわぎょぎょうきょうどうくみあい ひだかはるみ はなし  
**日南広渡川漁業協同組合 日高春身さんの話**

漁協では、いろいろな魚種を放流しています。  
 昔は放流しなくてもたくさん魚がいたもの  
 ですが、今では少なくなってしまったので、水産  
 資源を守るためにも放流を続けています。また、  
 カニは河口からたくさん上って来ますが、漁協  
 では上流でも捕れるように放流をしています。  
 魚を捕る場合は、ルールを守って、自然を大切  
 にする気持ちを、忘れないでくださいね。



**魚道**

堰があると、魚やカニはその  
 上下を移動できなくなってし  
 まいます。彼らの中には、成  
 長に合わせてすむところをか  
 えなければいけないものもい  
 ます。  
 そんな場所には、彼らのため  
 の通り道「魚道」をつくるよ  
 うにしています。

この部分は、流れる水が直接に  
 当たらないようになっていて、  
 移動する魚の休憩所となります。  
 写真のような魚道は、大きく分  
 けて「プールタイプ」と呼ばれ  
 るもので、プール（池）を連ね  
 て魚の休憩池としながら高度差  
 をつけています。また、魚道や  
 堰の近くでは魚を守る必要があ  
 るため捕ってはいけないという  
 ルールがあります。



魚は、水の流れを感じて  
 入口を目指すよ！

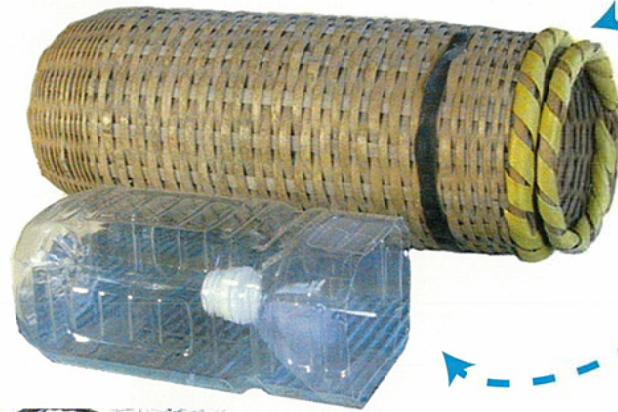
次のページでは、  
 魚とりの道具を紹介するよ！



# 魚とり

さかな

あなたは、川遊びをしたことがありますか？  
 広渡川・酒谷川でも、夏の川遊びを楽しみにしている人たちがいます。  
 例えば北郷町大藤の内之田井堰。ここは、遊ぶ子供の安全を見守る簡単な  
 小屋もある、本格的な(?)遊び場です。確かに近年、水の汚れ、急な護  
 岸など、人が遠ざかってしまうような場所も増えました。しかし時代は移  
 り、再び楽しく川とふれあえるような工夫が、少しずつ進められてきてい  
 ます。「じゃあ、川で何をするの？」待ってました、そんなあなたのため  
 に、今も現役の魚とりの道具、ほんの一部だけ紹介します！



これが昔ながらの「エビかご」

新開発!?  
現代版「エビかご」!



内之田井堰の監視小屋

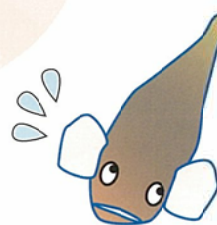
ハゼとり

ぐぐつ  
と引いて...

パツと  
はな  
放す!

## 農業を営む稲用茂さんの話

私は農業をしているから、川が水をくれる  
 ことに感謝の気持ちは忘れません。  
 川で魚も捕るから、魚を恵んでくれること、  
 遊ぶから、安全に遊ばせてくれること、  
 それぞれに感謝することは大切だと思  
 います。10年くらい前に比べて、水  
 もだいぶきれいになってきました。  
 川で遊んでみてください。きっと  
 川に親しみを感じる事が  
 できますよ。



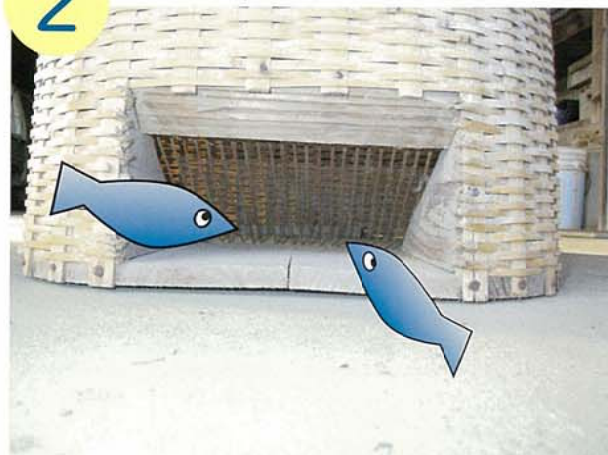


## ハヤとりの仕組み

1 上から見たところ



2 ハヤから見るとこんな感じ!?



3 一度入ったら出られない、その仕組み!



これらの道具は、県内の他の場所でも、名前は多少違ってもだいたい同じ仕組みで使われているんだよ!



ちょんがけは、アユなどの体に針をひっかけるようにして使います。



ちょんがけ



かなづき



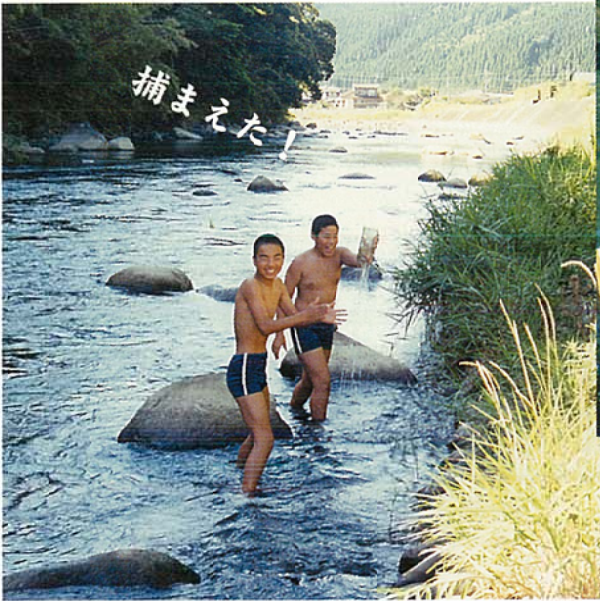
ウナギボッポ



# 川は友だち！

川は危ない、遊んではいけない……いつからか、そう言われるようになってしまいました。でも、大人と一緒になら、安全に遊べる場所もあるのです。そして忘れてはいけない、川は「学習」にも最高の場所であることを！ えっ、何の学習かって？ それはあなたが見たこと、感じたこと、考えたこと、何でもいいのです。行ってみないとわからない。準備ができれば、あなたも行ってみよう！

## 酒谷小学校では…



他にも酒谷小学校では、「みどりの少年団」を結成して、川のごみを掃除しています。





あが た ひがししょうがっこう  
吾田東小学校では…



川の生き物を探そう！

ナマズなんているんだ。  
初めて見たよ〜!!!



今日の先生は漁協の人だ！



川底の生き物を調べると、  
水のきれいさがわかるんだ！



★川遊びには、  
先生や保護者の方など、  
大人と一緒にいこうね。  
約束だよ！





かにまき汁  
を作ろう！



材料 (4~5人分)

- 山太郎ガニ(モクズガニ)……100g(甲羅を除く)
- 味噌……50g
- 水……400ml

1

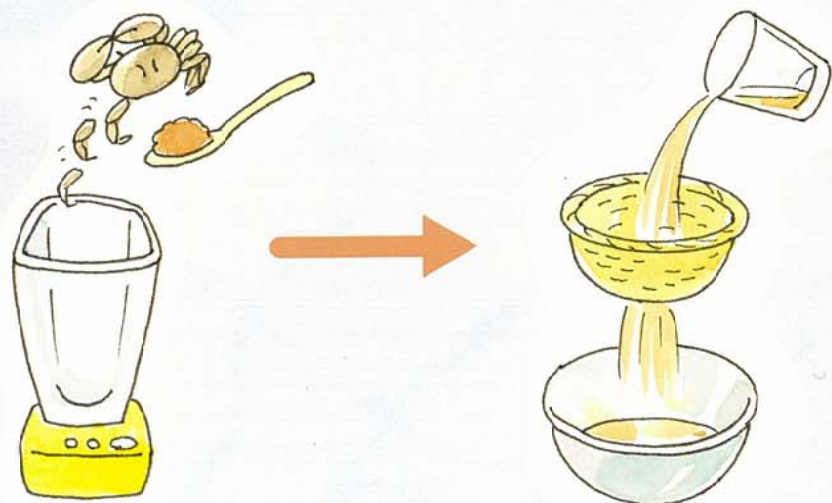
カニを洗った後、甲羅を外し、足も身もそのまま臼に入れて杵である程度砕き、途中で味噌を入れ、更に砕く。

2

細かくなったら、用意した水の半分を入れながら、ザルでこす。

3

ザルに残ったカニを臼に戻し、杵でつき(またはミキサー)、残りの水を入れ、更にザルでこす。



今は、砕く時にミキサーを使うよ！

かんたん「えび汁」

材料

- ダクマエビ(テナガエビ)
- 味噌
- 水

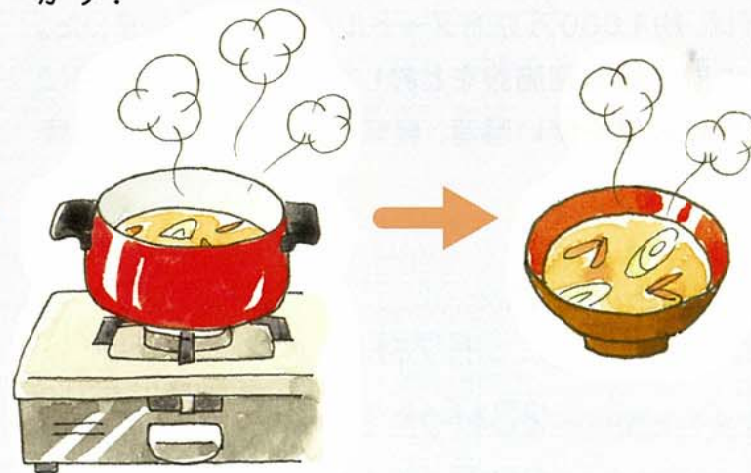
- エビを鍋で煮る。あくを取る。
- エビから黄色い油が出たら、味噌をとく。
- お好みで薬味を入れてできあがり！

4

ザルでこしたカニ汁をもう一度布でこすとなめらかになる。

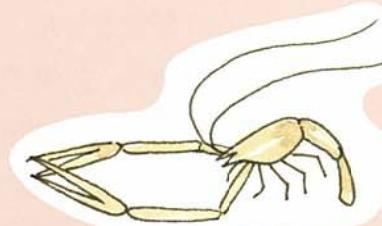
5

この汁を鍋に移し、こげ付かないように弱火でゆっくり加熱していく。すると、カニと味噌の固まりができて汁と分かれてくる。ふわっとまとまってくればできあがり！



6

おろしショウガ、ネギ、ゆずなどを入れてもおいしい。お好みでどうぞ。



カニの代わりにエビを使えば、「えびまき汁」になるよ。

※調理器具は、使用后熱湯消毒しましょう。

日南広渡川漁業協同組合 日高春身さんの話

川のカニ漁は8月から11月ですが、おいしいのは9月、10月ですね。漁協ではお祭りなどでかにまき汁やアユの塩焼きを提供しています。ここで食べたことのある方もいるのではないのでしょうか？最近ではエビも増えてきました。川がきれいになってきたからでしょう。



# 川のまわりで育った産業

## 王子製紙 日南工場

昭和13年(1938)にできてから、工場は日南市を中心とした地域の最大級の産業として発展してきました。

紙(洋紙)を作るのに必要なのは、原料として木(またはそれから作られるパルプ)と、豊富な水。ここに工場が建設されるきっかけとなったのは、餌肥杉の間伐材を紙の原料にしようという研究があったこと、そして広渡川・酒谷川という豊かな川の流れがあったことでした。



へえ～、餌肥杉は製紙には向かなかったんだ～。



実は、餌肥杉は製紙には向かないことが後でわかりました。また最近では新聞古紙を使った再生紙も多く作るようになり、今では国内外の各地から材料を調達しています。その間も、広渡川・酒谷川の水は、常に工場を支えてきました。平成12年度は、約4,000万立方メートルの水を使用しました。また、工場で使用した水の排水は処理施設をとおしきれいな水にして海に流しています。工場では最新設備を使い騒音、臭気等を出さないよう日夜努力をしています。

ちなみに4,000万立方メートルとは…

オーシャンドーム 70万立方メートル……57杯分！

福岡ドーム 176万立方メートル……23杯分！

東京ドーム 124万立方メートル……32杯分！



## 地下水が生んだ焼酎

飫肥の<sup>おび</sup>一帯<sup>いつたい</sup>を始め、流域<sup>りゅういき</sup>に点在する「酒蔵<sup>さかぐら</sup>」すなわちお酒（焼酎<sup>さけ</sup>）を作る店<sup>みせ</sup>。今は4つですが、昔は飫肥<sup>おび</sup>の通り<sup>と</sup>にずらりと並んで<sup>なら</sup>いたとか。どうしてそんなに多<sup>おほ</sup>かったのでしょうか？

酒蔵<sup>さかぐら</sup>の一つ、王手門酒造<sup>おうてもんしゅぞう</sup>さんに聞いてみました。

「飫肥<sup>おび</sup>には、小松山山系<sup>こまつやまさんけい</sup>のいい水<sup>みず</sup>がたくさん流<sup>なが</sup>れているんですよ」

えっ、どこを？ 酒谷川<sup>さかたにがわ</sup>ならわかるけど……

「地下水<sup>ちかすい</sup>ですよ。つまり井戸水<sup>いどみず</sup>。いいお酒<sup>さけ</sup>のためにはいい水<sup>みず</sup>が欠かせないのですが、ふつうに飲<sup>の</sup>んでもおいしい水<sup>みず</sup>です。もちろん保健所<sup>ほけんじょ</sup>の検査<sup>けんさ</sup>もパス。水温<sup>すいおん</sup>も一定<sup>いってい</sup>で、水不足<sup>みずぶそく</sup>の時<sup>とき</sup>にも枯<sup>か</sup>れたことはありません」

井戸水<sup>いどみず</sup>も川<sup>かわ</sup>の水<sup>みず</sup>も、もとは山<sup>やま</sup>に降<sup>ふ</sup>った雨<sup>あめ</sup>。

おいしいお酒<sup>さけ</sup>のもとは、足下<sup>あしもと</sup>にあったんですね。



流域には、このほか北郷町に「櫻の郷醸造」があります。



# 歴史を川から見てみたら

やく まん ねん まえ  
約180万年前

この時期より、海だったこのあたりが陸地になってくる。

やく まん せん ねん まえ  
約2万2千年前

あいら かざん さくらじま だいふん か  
始良火山（桜島）大噴火。

てんしょう ねん  
天正16年（1588）

いとうすけ たけ おびじょう はい おびはん おさ  
伊東祐兵、飫肥城に入り飫肥藩を治める。

ていしょう ねん  
貞享3年（1686）

ほりかわ うん が かんせい  
堀川運河が完成。

かんせい ねん  
寛政8年（1796）

の なか きん えもん うえ き がた うえ き やく にん  
野中金右衛門が植木方（植木役人）となる。

めいじ ねん  
明治4年（1871）

はいはん ちけん おとのさまが とち おさ はん という せいど を  
廃藩置県（おとのさまが土地を治める「藩」という制度を

その後合併などで都城県、宮崎県、鹿児島県と変わり、明

めいじ ねん  
明治10年（1877）

せいなん せん そう お せんじょう には なら な かつ た が、 じゅうみん が へい し  
西南戦争が起こる。戦場にはならなかったが、住民が兵士

めいじ ねん  
明治38年（1905）

すでに ひろ と がわ か せん かいしゅう おこな いう じき りく がある。

しょうわ はし  
昭和の初めごろ

ひろ と がわ さかたに がわ しりゅう さ ほう えん てい つく はし  
広渡川や酒谷川の支流で砂防堰堤が造られ始めた。

(砂防堰堤…川の上流部で、下流に流れ込む土砂を止め、

しょうわ ねん  
昭和18年（1943）

こ かわち がわ くろ に た がわ し せん ばげ ど せきりゅう お  
小河内川（黒荷田川の支川）で激しい土石流が起こった。

これを受けて昭和22年（1947）から対策の工事を行った。

しょうわ ねん  
昭和25年（1950）

ひろ と がわ やま す み はし えい きゅう ばし  
広渡川に山澄橋が永久橋としてかかる。

これにより郷之原小学校と大藤小学校が合併して（昔の）

しょうわ ねん  
昭和28年（1953）

ひろ と がわ ひろ が わら さ ほう えん てい かんせい  
広渡川に広河原砂防堰堤が完成。

しょうわ ねん  
昭和33年（1958）

なつ たい へん みず ぶ そく いね せい ちやう おお えい きやう で  
夏、大変な水不足に。稲の生長に大きな影響が出た。

しょうわ ねん  
昭和36年（1961）

たいふう ごう おび の まち が だい こう すい み ま  
台風24号により飫肥のまちが大洪水に見舞われる。

しょうわ ねん  
昭和40年（1965）

はる たい へん みず ぶ そく たう えい おお えい きやう で  
春の、大変な水不足に。田植えに大きな影響が出た。

しょうわ ねん  
昭和47年（1972）

たいふう 6・7・9 号 により かりゅう へい や ぶ だい こう すい  
台風6・7・9号により下流の平野部が大洪水となる。

しょうわ ねん  
昭和60年（1985）

にちなん かんせい さかたに がわ  
日南ダム完成（酒谷川）。

へいせい ねん  
平成6年（1994）

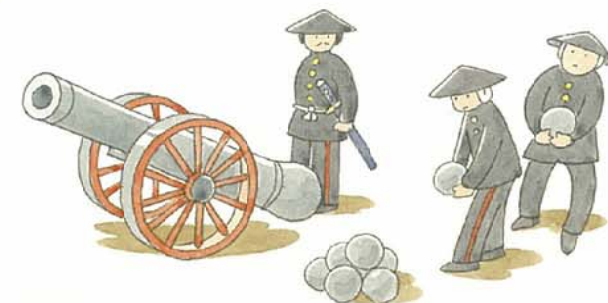
ひろ と かんせい ひろ と がわ  
広渡ダム完成（広渡川）。



やめた) により飫肥県に。

じ ねん げんざい みやざきけん すがた  
治16年（1883）現在の宮崎県の姿となる。

として多数参加した。



やまくず ふせ つく せき  
山崩れを防ぐために造る堰のこと。）

このころの北郷小学校は、  
北郷町役場のそばにありました。

きた ごうしょうがっこう  
北郷小学校となる。



「昔の酒谷中学校」昭和20年代



この地域を楽しくしたい！

やっちみろかい酒谷

★「やっちみろかい！」  
という言葉は、やってみよう、挑戦してみよう！  
…という意味です。



代表・日高茂信さん

やっちみろかいには、日南市酒谷地区の住民で組織されています。「棚田まつり」などを運営するほか、公演会を毎年開いています。平成13年5月の公演会は、大谷橋でのオカリナ演奏で、とても好評でしたよ！ダムに鯉のぼりをつけることもしています。これからも地域を活気づけるために、どんどん行動していきます。

おびらくいちらくざ 飫肥楽市楽座

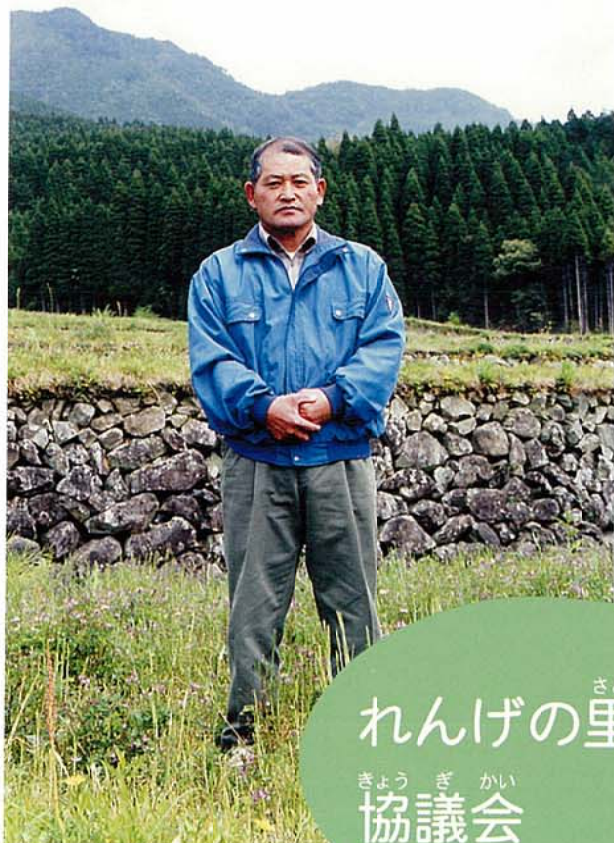
代表・中島康俊さん

私たちは、飫肥城周辺で人力車を走らせたり、「楽市」という市場を開いて、このあたりの特産品を並べるだけでなく、私たちも独自に商品を作り出したりしています。次は和紙。数十年前までは、飫肥で和紙が作られていたんですよ。これを復活させたいのです。お城でコンサートも開いています。毎年上手な方を招いているので、きっと感動してもらえるとおもいます！



★「楽市楽座」の元の意味は、戦国大名や織田信長・豊臣秀吉によって進められたまちづくりおよび商業政策のひとつのことです。それまでは一部の人による権利の独占や高い税のためにまちや商業が発達しないことが多かったのですが、彼らはこれを改め、より自由に商売ができるようにして、城下町の繁栄を図りました。





だいひょう ふる さわ いえ みつ  
代表・古沢家光さん

坂元地区は18戸の小さな集落です。集落の誇りは、昭和の初期に開かれた棚田です。先達の偉業をいつまでも守ると同時に、日南地区では見られなくなった「れんげの花」を作ろうと、平成6年に協議会を発足させました。今年1月にはあぜ道にヒガンバナを植え付けたので、2～3年後の秋にはイネの黄金色とヒガンバナのコントラストが楽しみです。平成14年から、棚田オーナー制度にも取り組みます。

れんげの里づくり

協議会



わかものじゅく  
若者塾

だいひょう くろ き やす お  
代表・黒木康夫さん

北郷町を中心に活動しています。若者塾の名の通り、20代が一番多く、現在26名ほどで構成されています。メンバーの職業は農業から会社員まで様々。仕事が異なると交流がなくなりがちなので、年末、町の中心部にイルミネーションを飾ったり、にぎやかなパーティーを企画したりしているんですよ。

